



にもかぐわらす

風土を紡ぐ

地球展

十握周作 (陶芸家) / 山口和也 (美術家) / 土村利子 (おばあちゃん) with 三村豊 (研究者)

2020.2.28 (fri) ~ 3.1 (sun) 10:00-16:00 会場: 法然院

現在、人間活動による影響が地球環境システムを大きく改変しようとしています。

わたしたちは、地球環境へ悪影響を及ぼしているにもかかわらず、あたりまえのように自然の恵みを享受しています。暮らしを彩るこの風景は、わたしたちに何を語りかけているのでしょうか。

本展では、陶芸家と美術家とおばあちゃんと研究者が、相互に往来しながら地球への眼差しを展示します。自分で採取した土を舐めてその性質・性格を理解して作品にしていく陶芸家。自ら山へ入って採取した野生の雁皮から和紙を漉き、花火によって永遠を描き出す美術家。集落で暮らした思いを詞にしたおばあちゃん。環境と風土の研究を通じて人と人をつなぐ研究者。

地球という有限の資源の中で、わたしたちはいかに楽しく、賢く、豊かに生きていけるか。改めて、地球の語りに耳を傾け、自然に寄り添った生活世界にしていかなければなりません。みなさんと共に考える地球展を開催したいと思います。

三村 豊（総合地球環境学研究所 研究員）

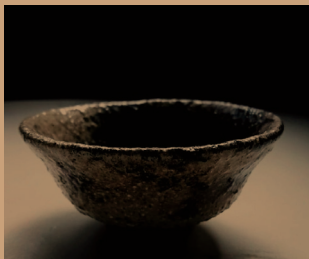
会期

2020年
2月28日（金）～3月1日（日）10時-16時

トークイベント 十握周作、山口和也、三村豊

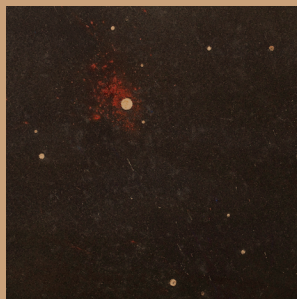
2月29日（土）16:15-17:30 会場：法然院 庫裏

※お申し込みは不要です。当日直接お越しください。



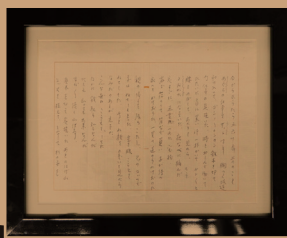
■十握 周作（とつかしゅうさく）／陶芸家

金沢市の泉野櫻木神社境内で
アトリエ「周の窯」を開窯
そこらへんの土石や
身近なものをつかい
素朴で、そのくせ、くせのある
いかにも十握式で、十握的な
やきものを制作



■山口 和也（やまぐちかずや）／美術家

発光する瞬間の痕跡、またはその集積によって永遠性を描く。一人の音楽家との即興で描かれる「KAKIAIKKO」で、2000年TAMON賞グランプリを受賞。近年は特製花火を用いた独自の描画手法で、観音寺本堂の天井画「鳳凰図」、大徳寺真珠庵本堂の襖絵「空花」などを描く。



■上村 利子（かみむらとしこ）／おばあちゃん
高知県長岡郡大豊町の集落に暮らすおばあちゃん。

■三村 豊（みむらゆたか）／研究者

総合地球環境学研究所研究員。専門は建築学（建築史・都市史）。都市と農村で持続可能な住まい方の研究を行う。

お問い合わせ先



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

コミュニケーション部門

メール：mimura@chikyu.ac.jp（三村）

主催：総合地球環境学研究所 博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業
民の世界一大学と地域の連携による記憶・技術・風土の継承（代表 三村豊）

共催：京都精華大学 アフリカ・アジア現代文化研究センター（設立準備室） 協賛：フィールドソサイエティ 協力：法然院

こんなにも
たくさん
のモノが
ありふれている
にもかかわらず

にもかかわらず

風土を紡ぐ

入場無料

会場

法然院

〒606-8422
京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町30番地

アクセス

■阪急四条河原町駅より

市バス32系統銀閣寺前行 南田町下車
山に向かって徒歩5分

■JR京都駅・京阪三条駅より

市バス5系統岩倉行 浄土寺 下車
山に向かって徒歩10分

■京阪出町柳駅より

市バス錦林車庫行 浄土寺下車
山に向かって徒歩10分

